

都市再生整備計画^{だい かいへんこう}
(第3回変更)

はすの
蓮野地区

にいがた せいろうまち
新潟県 聖籠町

平成26年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	聖籠町	地区名	蓮野地区	面積	207.2 ha
計画期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度	交付期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度				

大目標 地域の産業や自然、歴史・文化を活かした自信と誇りを持てる潤いのあるまちづくり。

- 目標① 弁天潟及び弁天潟周辺の自然環境や歴史的景観を守り・育てる。
- 目標② 地域のインフラを整備し、質の高い社会環境・生活環境を整備する。
- 目標③ 歴史・自然・産業を活かし、文化交流・産業振興の活性化を促進する。
- 目標④ 地域的歴史的資料を活用した町の魅力を広く発信する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

聖籠町は人口約13,800人、新潟県の北部の飯豊連峰に源を発する加治川下流の海岸地帯に位置し、面積約38km²、全体的にほぼ平坦な地形で豊かな農業地帯である。一方、昭和44年に特定重要港湾である新潟東港が開港し、背後地に造成した工業地帯には多数の企業が進出し、現在では200社(町内は97社)を超え日本海側最大規模の工業地帯に成長している。また、聖籠町は新潟市と新発田市の二つの都市に挟まれており、広域的な役割として重要な位置を占めている。蓮野は町の内陸に位置し「果樹の里」と呼ばれる程に果樹栽培が盛んで、サクランボ、ブドウ、モモ、ナンなどの果樹が四季にわたり豊富に産出される。また、収穫時期には観光農園として開園し、産地直産販売が行われており年々来訪者が増加し、リピーターも増えている。

蓮野にある弁天潟風致公園は、春から初夏にかけて桜、あじさい、蓮の花が咲き、冬期には白鳥などが飛来し水鳥が越冬する潟として有名で、四季を通じて親しまれる公園として町内外から多くの人が訪れている。毎年4月には「弁天潟桜まつり」を開催し約1,500人が訪れ、聖籠太鼓やよさこい踊りがまつりに花を添えている。

弁天潟風致公園に隣接する二宮家は、戦前は新潟県有数の大地主であり、弁天潟をその一部とする広大な庭園と屋敷や多くの蔵を敷地内に構える豪農であった。弁天潟はかつて二宮家の私有地であったが、昭和61年に町と借地契約を行い弁天潟風致公園として町が整備した。二宮家の庭園および建物は往時のまま残されており、平成18年に敷地内の建造物が国の登録有形文化財となった。また、平成17年からはバラの花の季節(6月)に同家のバラ園と庭園の一般公開が行われ、自然に包まれた邸宅の美しい空間が人々の目に触れるようになった。本宅前の道を挟んで建つ米蔵では、劇場空間として舞踏家による公演が行われたりしている。本宅の屋敷を囲む板塀は歴史を偲ばせるものとなっている。

弁天潟に関する地域活動も盛んで、近隣の蓮野小学校では弁天潟の歴史や自然をテーマとして学習を行っている。また、毎年9月のハス取り大会ではPTAも参加して、環境教育の一環として弁天潟の水質浄化活動を行っている。地域住民で組織する蓮野研究会は、弁天潟に関係する様々な地域活動を行っている。このように弁天潟と地域の関係性は深い。

ただし、様々な歴史・文化や自然、地域活動を有しているものの、これらに関する環境整備が遅れているのが現状である。弁天潟公園までのアクセス道路の利便性が悪く、公園自体も全体計画の中では一部未整備になっている。地域内に点在する各種施設や観光農園などへの案内看板や誘導サインが体系的に整備されていないため、来訪者が他の施設に気が付かない場合が多い。最近では二宮家の歴史的な建造物や景観を大切にしたいという住民の気運が盛り上がってきており、弁天潟と二宮家を中心として統一感のある周囲との一体的な環境整備が望まれてきている。また町の図書館には、歴史・自然・産業などの郷土資料がたくさん所蔵されているものの活用される機会は少なく、町の良さが十分に知られていない状況にもある。

今後は地域の歴史・文化・自然を活かした一体的な整備により、地域住民の生活の質の向上を目指すとともに地域の誇りや歴史・文化を守り育てることによって地域社会の活性化をほかり、地域の重要な産業である観光果樹園などの地域産業の活性化を目指す。

課題

- 弁天潟風致公園の全体計画の中で未整備部分があり、自然景観とイベント交流を両立させる魅力ある公園整備が必要である。
- 弁天潟風致公園へのアクセス道路の利便性が悪く交通安全性に問題がある。
- 主要施設の案内看板や誘導サインなどが十分に整備されていないため、地域内に点在する各種施設に立ち寄る機会(可能性)が低くなっている。
- 回遊性を高めるために各地域との道路ネットワークづくりが必要である。
- 町にある自然的・歴史的・文化的資源を活かした情報発信が必要である。

将来ビジョン(中長期)

- 自然を活かした弁天潟公園を完成させ地域の魅力とする。
- 弁天潟公園、二宮家などの自然・歴史を活かした潤いのある美しいまちを形成する。
- 地域の重要な産業であり魅力である観光農園へのアクセスの利便性向上を行い、歴史・自然・産業などの複合的な魅力ある地域を形成する。
- 弁天潟公園までのアクセス道路の整備を行い、自動車が安心して移動できる誘導サインを整備して各種施設への回遊性を高める。
- 弁天潟公園などを拠点として、歩行者・自転車利用者が各種施設へ楽しく、安全・円滑に移動できるように、体系的で統一感のある案内看板、誘導サイン、解説板などを整備する。
- 図書館主催の町史講座や調べ物学習会を開催し、町内外へ町の魅力を発信する。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1. 弁天潟桜まつり参加者数	人	弁天潟桜まつりの来訪者数	弁天潟の自然・歴史を活かした公園整備により、さらに充実したイベント内容が企画でき、来訪者数が増加すると予想される。地域の活性化の指標となる。	1,500	H19	2,000	H25
2. 観光農園来訪者数	人	観光農園の来訪者数(H19時点で登録のあった農園)	交通アクセスの向上と複合的な地域の魅力の向上によって来訪者数が増加すると予想される。また、地域産業の活性化に貢献度の指標となる。	36,500	H19	40,000	H25
3. 主要施設への来訪者数	人	二宮邸、蓮のギャラリーへの来訪者数	交通アクセスの向上と複合的な地域の魅力の向上によって来訪者数が増加すると予想される。地域の文化発信や交流に貢献する指標となる。	1,419	H19	1,800	H25
4. 図書館利用者数	人	図書館の利用者数	弁天潟の自然・歴史を活かした公園整備と図書館に所蔵している歴史・郷土資料・産業資料を結びつけることで、町の魅力発信の貢献度の指標となる	30,481	H23	31,000	H25

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の憩いの場となることはもちろん、弁天潟の自然を活かし、歴史ある二宮邸との景観と調和し、弁天潟桜まつりなどの地域交流などに寄与するなど、地域に愛されシンボル性の高い公園とする。 	弁天潟風致公園整備事業
<ul style="list-style-type: none"> ・道路の整備による交通アクセスの向上により、利便性、快適性を図り、弁天潟及び二宮家周辺地域を中心として観光農園などと回遊性のある道路ネットワークをつくる。 	町道二本松蓮野線道路改良事業
<ul style="list-style-type: none"> ・点在する各施設に安心して移動できるよう、また回遊性を高めるため、統一感のがあり体系的な誘導サインを設置する。主要施設には総合案内看板や施設解説板を設置し、地域の歴史・文化・自然を紹介する。 	案内・誘導サイン
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館に所蔵している本(歴史・郷土資料・産業資料)を活用し、案内・誘導サイン・散策マップだけでは伝えることのできない情報や魅力を紹介する。 	情報発信事業

その他

都市再生整備計画の区域

蓮野地区(新潟県聖籠町)

面積

207.2 ha

